Wリボンプロジェクト
2025 報告書



STOP Violence

～あなたはひとりではない～

Wリボンプロジェクトって何？



吹田市オリジナルデザイン
「W（ダブル）リボンマーク」

ＤＶと児童虐待。昨今、報道等で、悲惨な事件が伝えられない日はないといっても過言ではありません。

また、内閣府の令和５年度（2023年度）調査では、約4人に1人が配偶者からの暴力を受けたことがあり、女性の約4人に1人、男性の約5人に1人が被害を受けたことがあるという結果が出ています。

吹田市では、ＤＶと児童虐待が密接に関連していることを、あらためて認識し、ＤＶ防止対策と児童虐待防止対策を一体として進めていかなければならないと考え、女性に対するあらゆる暴力の根絶のシンボルであるパープルリボンと児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンを組み合わせて、吹田市独自で「W（ダブル）リボンマーク」を考案しました。

このマークを旗印に、平成23年度（2011年度）から、「Wリボンプロジェクト」として、ＤＶや児童虐待に係る講座の開催やマークのピンバッジであるWリボンバッジの販売などを実施し、「あなたはひとりではない　STOP　Violence」というメッセージを伝えています。

家庭や学校、地域など社会全体に暴力防止への深い理解と関心が広がり、地域や企業などと連携し、ＤＶや児童虐待など「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現をめざします。

Wリボンバッジ



社会全体に暴力防止への深い理解と関心を広げて、ＤＶ被害者や児童虐待の当事者に「あなたはひとりではない」というメッセージを届けましょう。



すいたんバージョン
もあります。

1個 300円

（100個以上は20％割引になります。）

販売場所　吹田市役所
人権政策室（134番窓口）

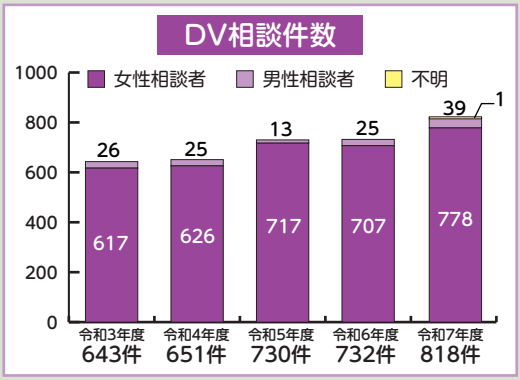
問合せ　吹田市立男女共同参画センター
TEL：06-6383-7202

※売上金がダブルリボンプロジェクト基金に積み立てられ、ＤＶ及び児童虐待の防止事業に活用されます。

DVと児童虐待の現状

吹田市では、平成23年（2011年）4月に、配偶者暴力相談支援センターの機能を持つ「すいたストップDVステーション（DV相談室）」を開設し、総合的なDV防止対策を進めています。また、DVを「予防」、「発見」、「支援」、「フォロー」の4つのステージで捉え、それぞれ施策を推進しています。

DV相談の件数は、近年、継続的に増加しており、令和7年度（2025年度）は818件と、令和3年度（2021年度）の約1.3倍となっています。

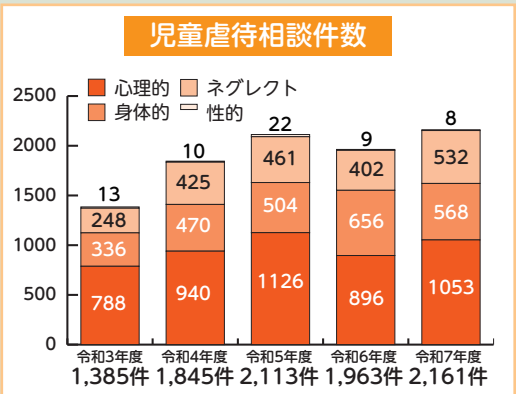


特に男性相談者は、令和7年度は39件と増加傾向にあり、女性だけでなく男性からの相談も増えています。

貧困や傷病、障がい、児童虐待等、様々な要因が重なり、内容が複雑化する傾向にあり、関係機関とのより一層の連携が必要となっています。

児童虐待相談件数については、全国的にも増加傾向が続いています。本市においては令和7年度（2025年度）の相談件数は2,161件と、令和6年度（2024年度）と比較して198件の増加となり、過去5年間で最も多い相談件数でした。

虐待相談内容の傾向としては、心理的虐待が相談件数全体の半分程度を占めており、これは、主に子供の面前でのDVや兄弟姉妹への虐待を目撃することによる心理的な虐待によるもので、家庭の中で起こる暴力の子供への影響は深刻なものとなっています。



本市では吹田市児童虐待防止ネットワーク会議を中心に、関係機関と密に連携しながら、支援を必要とする児童の早期発見、早期対応、虐待の再発防止に努めています。

児童虐待防止・子育て支援講座

11/22(土)午前10時～正午

これって依存症？こどものスマホ・ゲーム ～親はどう向き合うか～



兵庫県の垂水病院の診療部長であり、精神科医として豊富な経験を持つ山木愛久（やまき なるひさ）先生を講師にお迎えし、「子供のスマホ・ゲーム依存」をテーマに貴重なお話を伺いました。

昨今、増えている子供のスマホ・ゲーム依存に、親はまず問題を明らかにすること、次に親が気を付けるポイントとしては一方的な制限は状態を悪化させる可能性があり、親子のコミュニケーションを土台にスマホの時間を減らすための代わりとなる行動を考え、増やすことが大切であると学びました。

参加者アンケートでは、「子供がネット依存してしまう背景や生きづらさを親が理解することの重要性を学び、子供との関わり方についてわかりやすく聞くことができました。」などの意見がありました。

講演会

11/1(土)午前10時～正午

自分を大切にする心の境界線 ～人との距離感を考えましょう～



人間関係や生きづらさなど、様々なカウンセリングを行っている株式会社フェリアン所長の桑田道子（くわた みちこ）さんをお迎えしました。人間関係はお互いを尊重し対等であることが大切です。暴力的な支配関係ではなくても、片方の意見ばかりがとおり、もう一人が自分の思いを言いにくいと感じている場合、対等な関係ではない可能性があります。

講演では、自分と他者の境界（バウンダリー）やパーソナルスペースについてお話しいただき、お互いを尊重できるコミュニケーションについて考えました。

受講者からは、「自分のバウンダリーについて考えてみるきっかけになった」、「まず自分を大切にしようと思った」等の感想をいただきました。

Wリボンシアター

11/14(金)午前10時～正午

僕らの世界が交わるまで （2022年・アメリカ映画）

DV被害者のシェルターを運営し、社会奉仕に身を捧げる母親と、何不自由なく育ち、ネットのライブ配信のことしか頭にない息子がそれぞれの失敗を経てお互いへの想いに気付く、「家族」を描いた人間ドラマを上映しました。

受講者からは、「人それぞれの考え方の違いを改めて考えさせられる内容でよかった」「分かり合えないのが当たり前であると理解した上で、歩み寄ることが素晴らしいと思った」等の感想がありました。

啓発ポスター作成

Wリボンプロジェクトを周知するための啓発ポスターを作成し、市内の公共施設や小中学校等へ配付しました。また、吹田市役所やメイシアターのデジタルサイネージ、吹田市ホームページに掲載しました。



ライトアップ

Wリボンカラー ライトアッププロジェクト

11/1(土)～10(月)　日没から営業時間内



高さ日本一の観覧車、OSAKA　WHEEL(オオサカホイール)(EXPOCITY内)をWリボンカラーのパープルとオレンジにライトアップしました。



11/11(火)～25(火)午後5時～午後9時

メイシアター屋上のロゴをWリボンカラーのパープルとオレンジにライトアップしました。

イベント出展

6/15(日)

吹田スタジアムフェスタ2025 in Panasonic Stadium Suita



Panasonic Stadium Suitaで開かれたイベントにWリボンプロジェクトに関するブースを出展し、啓発ちらし、ポケットティッシュやマスクの配布、Wリボンバッジの販売を行いました。

折り紙コーナーでは、来場者の皆様にパープルとオレンジ色のハートをたくさん折っていただきました。

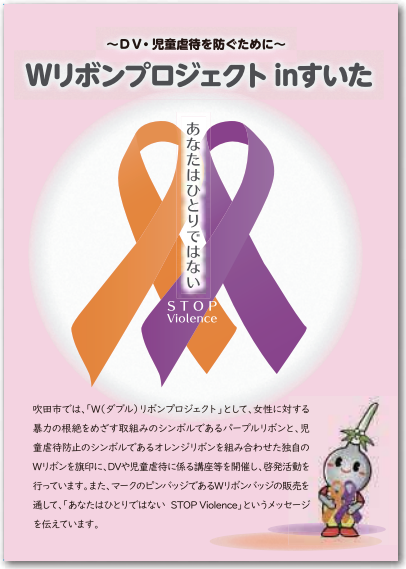
折りが込められた多数の折り紙のハートは、Wリボンプロジェクト in すいた(11月)で、吹田市立男女共同参画センター内にて展示させていただきました(写真右)。



ご協力ありがとうございます！

ダブルリボンプロジェクト基金

Wリボンバッジは多くの方々に御購入いただき、その趣旨に賛同いただきました。その方々の暴力防止への思いを何か形にできないかと考え、平成26年(2014年)3月末に「ダブルリボンプロジェクト基金」を創設しました。



なお、Wリボンバッジ(すいたんバージョン含む)は令和8年(2026年)3月末で累計約32,000個御購入いただきました。

基金には、バッジの売り上げや皆様からの御寄附が積み立てられ、その基金は、様々な啓発活動に加え、中学生に向けたデートＤＶ予防啓発や児童虐待防止啓発講演会の開催等、DV及び児童虐待の防止対策の財源として活用しています。

令和7年度(2025年度)、基金には、
39件
703,768円
の御寄附を積み立てました。



吹田市すいたん

ダブルリボンプロジェクト基金収支

令和７年(2025年)3月末現在 基金残額	**8,793,192円**
1　収入	**1,317,260円**
寄附金	703,768円
Wリボンバッジ売上金	524,338円
利息	20,314円
2　前年度繰戻金	**68,840円**
3　支出	**1,002,000円**
DV及び児童虐待防止対策に係る事業費に充当するための繰出金	1,002,000円
基金残額(令和８年(2026年)3月末日現在)	**9,108,452円**

基金は、「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現のために活用します

若い世代における交際相手からの暴力＝デートDVを予防するため、正しい知識や対等な人間関係を築くことの大切さを伝える授業を行いました。

令和7年度（2025年度）は大学生ユースリーダーとともに、市内の中学校13校に出向きました。



デートＤＶ予防啓発出前授業（中学校）

市内の商店街では、お店の入口や店内にWリボンマークのステッカーを貼っていただき、普及啓発に御協力いただいています。







吹田市では、職員が着用する作業服や防災服、帽子等にWリボンマークをデザインし、普及啓発に取り組んでいます。









Wリボンプロジェクト支援自動販売機

吹田市役所本庁舎と、吹田市水道部庁舎に設置された「Wリボンプロジェクト支援自動販売機」です。市内各地に40台設置されており、Wリボンマークのマグネットやラッピングが施されています。

様々な企業、団体の御協力で、Wリボンプロジェクト支援自動販売機の売り上げの一部がダブルリボンプロジェクト基金に寄附されます。



株式会社山久
（吹田市役所本庁舎）



大阪北部ヤクルト販売株式会社
（水道部庁舎本館１階ホール）

吹田市内郵便局との包括連携協定に基づく取組

郵便局は日々多くの市民が利用する施設です。市内郵便局と連携した啓発活動を行い、広く市民にメッセージを届けています。



郵便車

Wリボンマークの輪 全国へ

ＤＶと児童虐待防止のシンボルとして、吹田市独自で考案した「W（ダブル）リボンマーク」が全国各地で使用され、活動を広げています。

Wリボンマークは本市へ使用申請いただき、承認を受ければ御使用いただけます。

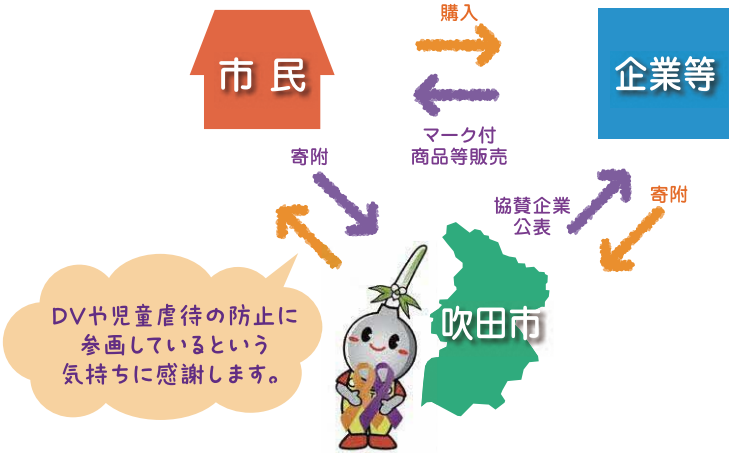
令和7年度（2025年度）は19件の使用申請があり、全国にWリボンの輪が広がっています。

この基金は、DVや児童虐待の防止の啓発などを通し、
「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現のために活用します。

この基金への寄附を募集しています。

あなたの寄附で、DV被害者や児童虐待の当事者に「あなたはひとりではない」という
メッセージを伝えるとともに、「暴力のない安心安全のまち、すいた」が実現するよう応援をお願いします。

ダブルリボンプロジェクト基金のサイクルイメージ



ふるさと納税制度を活用して応援をお願いします。

個人の方が地方公共団体に寄附をいただいた場合、「ふるさと納税」制度の対象となり、2,000円を超える部分について、一定限度額まで、原則として所得税・住民税から全額が控除されます。

【寄附方法】

❶所定の申込用紙に必要事項を記入し、寄附をお申し込みください。

❷最寄りの金融機関等でご入金をお願いいたします。

❸金融機関でお渡しする領収書（これが寄附金受領証明書になります。）を大切に保管してください。

❹確定申告時期に確定申告を行ってください。（上記の領収書が必要です。）

※法人の寄附は、寄附金相当額が損金算入できます。

詳しくは下記までお問い合わせください。

吹田市市民部 人権政策室（ダブルリボンプロジェクト基金担当）
TEL.06(6384)1461

吹田市寄附申込書

吹田市長　宛

年　　月　　日

下記のとおり、ダブルリボンプロジェクト基金への寄附を申し込みます。

フリガナ	
1　氏名又は団体名	
2　団体の代表者名 （団体の場合のみ）	
3　住　　所	〒　－
4　電　話　番　号	（　　）　　－
5　寄　附　金　額	￥　　円
6　氏　名　の　公　表 （どちらかをお選びください）	※今回のご寄附について、お名前等を「市報すいた」や「本市のホームページ」等で公表することについて □同意する　　□同意しない
7　納　付　方　法 （お選びください）	□　市役所窓口払い （担当窓口：人権政策室）
	□　吹田市指定金融機関、吹田市収納代理金融機関での納付 （納付書を後日送付いたします。）
	□　市の口座へ直接お振込み りそな銀行　吹田支店 普通　０３３９３１１ 吹田市ダブルリボンプロジェクト基金（すいたしだぶるりぼんぷろじぇくときぎん） （手数料はご負担となります。） ※振込予定日　　年　　月　　日
	□　現金書留 （郵送料等はご負担となります。）

※いただきましたご寄附は、全額を「ダブルリボンプロジェクト基金」への指定寄附として積み立てます。

寄附申込先：吹田市市民部人権政策室

〒５６４－８５５０　吹田市泉町１－３－４０

TEL：０６－６３８４－１４６１　　FAX：０６－６３６８－７３４５

キリトリ

ダブルリボンプロジェクト基金への寄附をお願いします

❶ 9 ページの申込書に必要事項を記入し、人権政策室まで寄附をお申し込みください。

❷ 次のいずれかの方法で御入金をお願いいたします。

① 申込書に記載している振込先に入金する
② 市役所窓口払い（人権政策室の窓口）
③ 現金書留（人権政策室宛）

❸ 金融機関等でお渡しする領収証書を大切に保管してください。

❹ 確定申告書に上記の領収証書を添えて確定申告してください。

（ふるさと納税制度の対象となり、2,000 円を超える部分について、一定限度まで、原則として所得税・住民税から全額が控除されます。）

2025年度「Wリボンプロジェクト」協賛事業者等一覧

（50 音順、敬称略）

江坂企業協議会
大阪北部ヤクルト販売株式会社
オリエンタル酵母工業株式会社大阪工場
株式会社河﨑ユニフォーム
株式会社ガンバ大阪
近畿中央ヤクルト販売株式会社
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
協同組合佐竹ショップセンター
株式会社ジェイコムウエスト　北大阪局
吹田企業人権協議会
団地管理組合法人吹田さんくす
一般社団法人吹田市医師会
一般社団法人吹田市歯科医師会
社会福祉法人吹田市社会福祉協議会
吹田市中通商店街組合
公益財団法人吹田市文化振興事業団
一般社団法人吹田市母子寡婦福祉会
一般社団法人吹田市薬剤師会
吹田ロータリークラブ
泉州電業株式会社
ダイドーアサヒベンディング株式会社
ダイドーベンディング近畿株式会社
高野台 B1商店会
株式会社ダスキン
男女共同参画センター・グループの会
男女共同参画センター・グループの会　世話人会
トナリエ南千里テナント会
学校法人西大和学園大和大学
株式会社ビケンテクノ
日の出商店会
広島県警本部生活安全部人身安全対策課
株式会社プロテリアル金属
北越コーポレーション株式会社大阪工場
北港情報サービス株式会社
マロニー株式会社
株式会社山久
匿名（2件）

多くのみなさんの御協力、ありがとうございました。

お使いください

Wリボンマーク



DVと児童虐待防止のシンボルとして、吹田市独自で考案した「W（ダブル）リボンマーク」を使用して活動を広げていただくために、団体・個人に関わらず、本市の承認を受け、Wリボンマークを使用していただくことができます。
Wリボンマークはポスター、文房具など自由に使えます。
Wリボングッズを身近に置くことで、家庭や地域、学校などにDVや児童虐待など、あらゆる暴力の防止への深い理解と関心を広めてみませんか。
Wリボンマークを使用するには、「Wリボンマーク使用要領」を参考の上、申請してください。なお、特定の個人又は団体のシンボルマーク又は意匠として使用することはできません。詳しくは人権政策室（06-6384-1461）までお問合せください。



市ホームページ

https://www.city.suita.osaka.jp/kurashi/1018573/1018585/1018591/1006427.html

Wリボンプロジェクト2025報告書

令和8年（2026年）9月

発　行/吹田市

編　集/市民部　人権政策室

〒564-8550　吹田市泉町1丁目3番40号



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

VEGETABLE OIL INK

リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この印刷物は、植物性インキと再生紙を使用しています。

この冊子は900部作成し、1部あたりの単価は84円です。